

3人が「地獄」語る

名古屋の飲食店でイベント

地獄絵を研究する愛知教育大の鷹巣純教授(仏教絵画史)らによる「地獄」がテーマのトークイベントが二十三日午後四時から、名古屋市中区栄の飲食店「ボクモ」で開かれる。

鷹巣教授、タイの仏教美術を研究し同国の寺院の地獄絵や像についてまとめた『タイの地獄寺』の著書がある早稲田大大学院生の椋橋彩香さん(東京)、B級スボットや社寺の文化に詳しいフリーライター大竹敏之さん(名古屋市)が参加。「本当の地獄はこれからだ!」と題してそれぞれの研究成果、日本とタイの地獄表現などについて語る。

企画した大竹さんは「それぞれ地獄へのアプローチが違う部分も重なる部分もあり、思わぬ方向に議論が発展すればおもしろいのでは」と話す。

入場料二千円で、定員三十五人の先着順。申し込み、問い合わせはボクモ 電052(253)6950へ。
(川原田喜子)